



みかみ はすみ  
三上 美純さん (17)

**Profile**  
東大阪大学敬愛高等学校 空手道部

- 第2回清州城信長杯争奪空手道大会 組手女子-59kg級 第3位
- 第38回近畿高等学校空手道大会 組手女子団体 第5位
- 第7回和歌山ビックホール全国高等学校空手道大会 組手女子団体 優勝
- 夏井小学校 卒業
- 夏井中学校 卒業

高校から久慈を離れ、空手の名門東大阪大学敬愛高等学校に通う三上美純さん。空手を始めるきっかけや大阪での空手生活について聞きました。

■空手を始めたきっかけは？

5歳のときに父と一緒に空手を始めました。気弱な子だったらしいので、それを変えるためでした。

■久慈での空手の練習や成績は？

市内の空手団体に所属していたのですが、父が指導者として新たな団体を立ち上げたので、父と一緒に頑張ってきました。中学3年生のときには日本空手協会の全国大会でベスト8に入ることができました。

# イチバンポシ!

■大阪の高校に通うきっかけは？

中学校2年生のときに出場した「はなます杯」という全国大会で、今の高校の監督に声をかけていただきました。高校の練習を見てすごいと感じ、ここで頑張ってみよう！ と思って、進学を決めました。

■大阪での空手生活は？

練習の環境はとても良いです。監督も元世界チャンピオン。大阪で校内・府内を勝ち上がることはとても難しいのですが、周りのレベルが高いので、自分の成長につながっていると思います。

■家族への感謝

大阪に来てみて、技術力の差をすごく感じたのですが、基礎的なことや精神面は通用すると思いました。それを鍛えてくれた父には感謝しています。

■中高生のみなさんへ

自分はランニング練習など小さいことでも手を抜かないようにしていますし、普段の生活でも徳を積めるように行動しています。少しのことを積み重ねることで、自分に返ってくる。頑張ったら人生いいことが待っていると思います。一緒に頑張りましょう！



信長杯の賞状を掲げる三上さん(右から2人目)

ビックホール杯で団体優勝!



## 一步踏み出せば世界は変わる

全国の各大学のミスキャンパスの中から、さらにミスにふさわしいのは誰かを決定する「Miss of Miss Campus Queen Contest」で準グランプリに輝いた兼田日向子さん。横浜市立大学で国際教養を学びながら、テレビ・イベント出演などの芸能活動も行い、夢に向かって走り続けています。

久慈中学校を卒業後、久慈を離れ八戸高校へ進学。高校では勉学に励むとともに、合唱部に所属しました。2年生から部長を務め、東北大会での金賞受賞や全校大会へ出場。高校卒業後は横浜市立大学に進学しました。

コンテスト参加のきっかけは、実行委員会に声をかけられたこと。家族の後押しもあり出場を決意しました。コンテスト参加者としてさまざまなイベントに参加。学園祭などでの投票の結果、横浜市立大学でグランプリに輝きました。横浜市立大学の代表として、全国大学のコンテストにも参加。SNSでの情報発信や地元への応援も力になり、見事準グランプリに選ばれました。兼田さんは、コンテストを通じて、参加者からさまざまな話を聞き、アナウンサーになりたいという夢ができたそうです。

「一步踏み出すことはとても難しい！ 中高生はいろいろと深く考えてしまうと思います。でも、その一步を踏み出せば世界が変わる！」と中高生にエールを送る兼田さん。その言葉には、人を元気づける不思議な力がありました。



**Name**

兼田 日向子さん  
かねた・ひなこ (田屋町 20歳)

**Profile**

横浜市立大学 国際総合科学部  
国際総合科学科 国際教養学系2年  
Miss of Miss Campus Queen  
Contest2018 準グランプリ  
MissYCUcontest2017 グランプリ

久慈中学校 卒業  
八戸高校 卒業

**家事のバランスグラフ**  
赤と黒どっちが夫？どっちが妻？

出典：久慈市男女共同参画に関する意識調査

家事	主に夫が行う	同程度分担している	主に妻が行う
最終決定	15.2%	27.7%	51.2%
育児	0.4%	13.7%	62.5%
料理	7.0%	2.0%	84.3%
洗濯	8.2%	1.2%	85.1%
掃除	7.8%	3.1%	84.0%

**true colors**  
さんかく  
男女共同参画のすすめ

男女共同参画とは、男だから・女だからと性別で役割分担をするのではなく、個々の長所や個性など「その人らしさ」を活かして、みんなで協力していくことです。

**答えは…黒が夫 赤が妻**

このグラフは、久慈市民を対象に行ったアンケート調査です。掃除や洗濯、食事のしたく、育児は主に妻が行っているのに対し、家庭の問題の最終決定は主に夫が行っており、男女で逆転していることが分かります。

男性が決定権をもち、女性はサポートする…これは本当に「当たり前」でしょうか。無意識のうちに、性別によって役割を固定していませんか？ もちろん、家庭の状況や個人の能力によって適切なバランスは異なるので、一概に半分ずつにすればよいというものではありません。「当たり前」を取り払い、お互いのワークライフバランス（仕事と生活の調和）を大切にするために、家事のバランスについて、家族で話し合ってみてはいかがでしょうか。

## 誘致企業ガイド

### 東北王子運送株式会社久慈営業所

- 代表者 久慈営業所 所長 奈良 聖一
- 所在地 夏井町大崎14地割38-2
- 事業内容 貨物自動車運送事業
- 操業年 平成28年3月17日
- 従業員数 21人(事務職:5人、運転手:16人)

運送業界で、国内有数の企業である福山通運(株)のグループ企業である東北王子運送(株)。三陸沿岸道路の整備などにより流通体系が変化したため、平成28年3月に、配送拠点となる久慈営業所が開所されました。

市内企業の配送の大部分を担っており、北上支店を通じて全国に商品が届けられています。配送で各家庭にも伺うので、地域見守り協定を久慈市と締結しています。また、引っ越しの配送時には、室内まで運ぶサービスを実施しています。転入された人が久慈を良いところだと思ってもらえるよう、誘致業として少しでもお役に立てればと思っています。

●ポイント 毎年ドライバーを募集しています。いろいろな人とふれあうことができる仕事。運転の技術はきっちり時間をかけて教育しますので、運転に自信がない人でも問題ありません。免取取得についても、中型・大型の免許取得費用を会社が負担しています。



\*市では、地域経済の活性化や雇用の場の確保のために、さまざまな業種の会社が市内に立地してくれるように働きかけています。「誘致企業」は、この働きかけに応じて、市内に事業所などを立地した企業のことです。

上/大型・中型合わせて20台のトラックで商品を各地に運送しています 左下/ヤードは市内企業の商品が山積み 右下/トラックで運ばれてきた商品を仕分けるドライバー